

2022年度エコアクション21 環境経営レポート

目次

1. 組織の概要	P.1
2. 対象範囲	P.1
3. 環境経営方針	P.2
4. 環境経営目標	P.3
5. 環境経営計画	P.4
6. 1 実施体制	P.5
6. 2 エコアクション21の取り組み内容	P.6
7. 1 環境目標の実績とその評価(是正処置)	P.7
7. 2 環境経営計画の取組結果	P.8
7. 3 次年度の環境経営目標	P.9
7. 4 次年度の環境活動計画	P.10
8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟などの有無	P.11
9. 代表者による全体評価と見直し・指示	P.11

活動期間(2022年9月1日～2023年8月31日)

2023年11月30日発行



株式会社桐ヶ谷工業所

1. 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者氏名

株式会社 桐ヶ谷工業所
代表取締役社長 桐ヶ谷 修幸

(2) 事業所及び所在地

本社 神奈川県横浜市神奈川区東神奈川2丁目49番16号
第二工場 神奈川県横浜市神奈川区新町1-21

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 事業本部長 桐ヶ谷 圭介
担当者 総務部 桐ヶ谷 友美
連絡先 電話 045-461-0471
FAX 045-441-7437
電子メール kirigaya@kirigaya-eng.co.jp

(4) 事業活動の内容

プラント工事 水処理施設、焼却施設等のプラント建設工事
建築工事・管工事 土木工事、建設工事、電気工事並びに管工事
メンテナンス 各種クレーン、立体駐車場、エレベーター・エスカレータの
点検整備、修理工事

(5) 事業の規模

事業規模	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
売上高	百万円	745	961	853	702
工事等の件数	件	282	273	289	299
従業員数	人	25	25	25	25
床面積	m ²	315	315	315	315

2. 対象範囲

(1) 認証・登録対象組織

本社、第二工場

(2) 認証・登録対象活動

機械器具設置工事、プラント工事及びメンテナンス事業

3. 環境経営方針

環境経営方針

〈環境理念〉

(株)桐ヶ谷工業所は、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、建設事業活動において、地球環境の保全に配慮して行動し、地球環境と調和した持続可能な社会の形成のために、全社一丸となって自主的・積極的に、環境経営の継続的改善活動に取り組みます。

〈行動指針〉

1. 次の事項について環境目標・活動計画を定め、環境経営の継続的改善に努めます。
 - 1) 二酸化炭素排出量の削減(低炭素社会への対応)
 - 2) 廃棄物排出量の削減及び再資源化の推進(循環型社会への対応)
 - 3) 水道使用料の削減(水資源の保全)
 - 4) 化学物質使用量の削減
 - 5) 製品及びサービスに関する環境配慮の取組
 - 6) 社会インフラ整備への貢献
 - 7) 工程・安全・品質管理の強化
2. 環境関連法規、条例及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
3. 全ての組織及び従業員の参加による環境保全活動を推進します。
4. 環境への取り組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。

－ 本方針は、全従業員に周知徹底し、かつ、一般の方に公開します －

改定 2020年11月 1日

株式会社 桐ヶ谷工業所
代表取締役 桐ヶ谷 修幸

4. 2022年度環境経営目標

環境経営目標	基準値	参考値	年度目標		
	2018年度実績	2019年度実績	2022年度	2023年度	2024年度
1-①電力使用量の削減 合計	31,139 kWh	33,549 kWh	32,500 kWh	32,000 kWh	31,500 kWh
1-①電力使用量の削減 本社		18,282 kWh	17,750 kWh	17,500 kWh	17,250 kWh
1-①電力使用量の削減 工場		15,267 kWh	14,750 kWh	14,500 kWh	14,250 kWh
1-②ガソリン使用量の削減	7,122 L	6,746 L	6,800 L	6,800 L	6,700 L
1-③軽油使用量の削減	5,224 L	4,927 L	4,900 L	4,800 L	4,700 L
1. CO2排出量の削減	46,903 kg-CO ₂	44,199 kg-CO ₂	42,003 kg-CO ₂	41,536 kg-CO ₂	40,837 kg-CO ₂
2-1) 一般廃棄物排出量の削減(可燃物)	2,650 kg	2,345 kg	2,300 kg	2,300 kg	2,250 kg
2-2) 産業廃棄物リサイクル率の向上(分別の徹底)	97 %	70.1 %	80 %	80 %	80 %
3) 水使用量の削減	288 m ³	277 m ³	280 m ³	275 m ³	270 m ³
4) 化学物質使用量の適正管理		使用量把握 0.56 kg	使用量把握 -	使用量把握 -	使用量把握 -
5) 環境配慮施工の推進 騒音・振動・大気汚染など出さないように施工する	100%実施	100%実施	100%実施	100%実施	100%実施
6) 社会インフラ事業の受注促進			実績把握	-	-
7) 海外要員の教育訓練 (対象人員)			実績把握	-	-

注(1)購入電力のCO2排出係数:0.418kg-CO₂/kWh(2020年東京電力エナジーパートナー)

注(1-2)化石燃料は工場で灯油を暖房等に使用しているが少量なので省略

注(2-2)産業廃棄物はインフラ リニューアル工事での廃棄物であり、リサイクルの管理はできない。

分別でリサイクル率を上げる。

注(4) 化学物質はエポキシ樹脂塗料中のキシレンであり、塗装量が工事によって仕様で決まっているので削減はできない。有機溶剤規則に則て施工する。

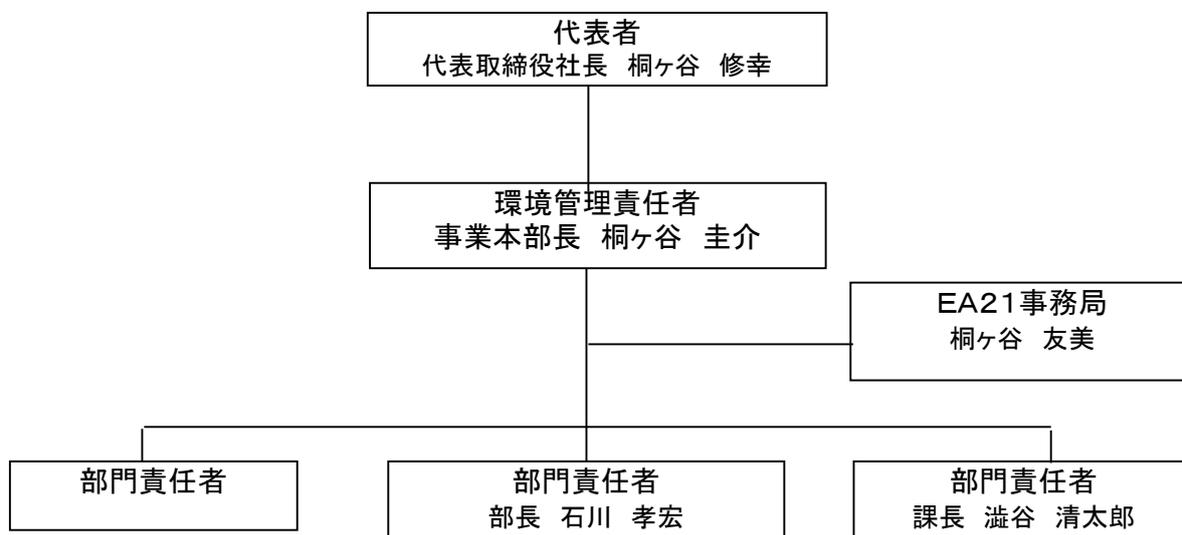
注(5) 環境配慮施工の推進は騒音・振動・大気汚染など出さないように施工する。

5. 2022年度環境活動計画

環境目標 目標値	環境活動計画 施策(取組項目)	責任者	担当者	スケジュール
1. 二酸化炭素排出量の削減				
①電力使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・休憩時の消灯 ・空調の適温化 ・LEDへの切り替え(工場) 	圭介	南	毎日 毎日 随時
②軽油使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・溶接燃料の節約 ・省エネ運転の実行 ・定期的車両整備の実施 	圭介	齊藤	毎日 毎日
③ガソリン使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・溶接燃料の節約 ・省エネ運転の実行 ・定期的車両整備の実施 ・省エネ自動車への切り替え 	圭介	齊藤	毎日 毎日 年1回 検討中
2. 廃棄物排出量の削減 及びリサイクルの向上				
①一般廃棄物排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・分別の徹底 ・リサイクルの推進 ・IT化を進め、紙使用量の削減 	圭介	澁谷	毎日 毎日 毎日
②産業廃棄物のリサイクル率の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・業者とリサイクル項目検討 ・分別方法検討 ・分別とリサイクルの試行 	圭介	澁谷	検討中 随時 毎日
3. 水使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・水使用量の節約(ラベル貼り付け) ・水の漏洩点検の実施 ・節水コマの取付 	圭介	澁谷	毎日 年1回 検討中
4. 化学物質使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・SDS入手 ・鍵のかかった保管庫に保管 ・使用量の把握 	圭介	南	随時 毎日 随時
5. 環境配慮施工の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・工事前の詳細打ち合わせ ・朝礼での注意喚起 ・低騒音・低振動機械の使用 	圭介	澁谷	随時 随時 随時
6. 社会インフラ事業の受注促進	<ul style="list-style-type: none"> ・行政からの情報を集める ・得意分野を決めPRする 	圭介	圭介	随時 随時
7. 海外要員の教育訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・年間教育計画を決める。 ・指導員の教育を行う 	圭介	石川	年1回 毎日

6-1. 環境経営実施体制

作成日 2022年06月10日



役職	責任・権限
代表取締役社長	<ol style="list-style-type: none"> 1. 効果的で必要十分な実施体制を構築する 2. 環境経営に関する方針(環境経営方針)を定め、誓約する 3. エコアクション21を運用し、維持するために経営資源を用意する 4. 経営における課題とチャンスを整理し、明確にする 5. 環境経営全体の取り組み状況及び効果を評価し、総括的な見直しを実施し、必要な指示を行う。
環境管理責任者	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境経営システムの確立、実施、維持、継続的改善 2. 社長への環境経営システムの実施状況報告 3. 推進機関であるEA21EMSの事務局の責任者として事務局運営 4. それぞれの業務・役割に応じ、必要な教育訓練を適切に計画・実施する 5. 関連法規の取りまとめ表の維持管理、遵守徹底 6. 環境関連文書及び記録の作成・整理
事務局	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 2. 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 3. 環境目標、環境活動計画書原案の作成 4. 環境活動の実績集計、環境関連法規等取りまとめ表の作成 5. 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 6. 環境関連の外部コミュニケーションの窓口、環境活動レポートの作成
部門責任者	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自部門における環境経営システムの実施、環境方針の周知、従業員に対する教育訓練の実施、自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 2. 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 3. 特定された項目の手順書作成及び運用管理 4. 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト、訓練を実施、記録の作成 5. 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
従業員	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自身の与えられた役割・業務を実施すると同時に改善する。

6-2. エコアクション21の取り組み内容

<p>近所周辺の清掃活動</p>	
<p>エコキャップ回収活動</p>	
<p>節電ラベル</p>	
<p>節電</p>	

7-1. 2022年度 環境目標の実績、達成状況及び評価・是正処置

環境目標	基準(実績)	目標	実績	達成状況	評価・是正処置
	2010年度	2022年度	2022年度	○達成	
	2010年9月 ～8月	2022年9月 ～8月	2022年9月 ～8月	×未達成	
0. 売上高	670 百万円	800 百万円	702 百万円	×	
1. 二酸化炭素 排出量の削減	87,127 kg-CO2	42,003 kg-CO2	39,234 kg-CO2	○	
①電力使用 量の削減(本社)		17,750 kWh	11,748 kWh	○	
①電力使用 量の削減(工場)		14,750 kWh	17,150 kWh	○	
②軽油使用量 の削減	14,289 L	4,900 L	3,608 L	○	
③ガソリン使用量の削減	13,833 L	6,800 L	7,449 L	×	工事件数が増えた為使用量も多くなってしまった
2. 1一般廃棄物総排出量 の削減	4,300 kg	2,300 kg	3,672 kg	×	保管期間を過ぎた書類の処分をした
2. 2産業廃棄物の リサイクル率向上	80 %	80 %	93 %	○	
3. 水使用量の削減	762 m ³	280 m ³	208 m ³	○	
4. 化学物質使用量 使用量管理		化学物質使 用量	kg	-	
5. 環境配慮施工の推進	100 %	100 %	100 %	○	
6. 社会インフラ事業の 受注促進		実績把握	92 件	-	
7. 海外要員の教育訓練		実績把握	6 人	-	

※①No.1～3の環境目標項目は達成度欄に100%までの場合が達成「○」、100%超える場合が未達「×」と評価する。向上の場合はその逆とする。

②No.5の環境目標項目は達成度欄に取組があれば達成「○」
取組がなければ未達「×」と評価する。

注(1)購入電力のCO₂排出係数:0.418kg-CO₂/kWh(2018年東京電力エナジーパートナー)

7-2. 2022年度環境活動計画の実施状況及びその評価

環境目標 目標値達成度	環境活動計画 施策(取組項目)	実施 状況	評価
1. 二酸化炭素排出量の削減			
①電力使用量の削減	・休憩時の消灯 ・空調の適温化 ・省エネ型蛍光灯への切り替え	◎ ◎ ○	効果あり 効果あり 効果あり
②軽油使用量の削減	・溶接燃料の節約 ・省エネ運転の実行 ・定期的車両整備の実施	○ ○ ◎	効果あり 効果あり 効果あり
③ガソリン使用量の削減	・溶接燃料の節約 ・省エネ運転の実行 ・定期的車両整備の実施 ・省エネ自動車への切り替え	◎ ○ ◎ ○	効果あり 効果あり 効果あり 効果あり
2. ①一般廃棄物排出量の削減	・分別の徹底 ・リサイクルの推進 ・IT化を進め、紙使用量の削減	◎ ◎ ◎	効果あり 効果あり 効果あり
2. ②産業廃棄物のリサイクル率の向上	・業者とリサイクル項目検討 ・分別方法検討 ・分別とリサイクルの試行	◎ ◎ ×	効果あり 効果あり 分別の徹底
3. 水使用量の削減 <水道使用量: m ³ >	・水使用量の節約 ・水の漏洩点検の実施 ・節水コマの取付	◎ ○ ×	効果あり 効果あり 検討中
4. 有害化学物質使用管理・ 適正使用	・情報入手 ・保管管理 ・使用量の把握	◎ ◎ ◎	効果あり 効果あり 効果あり
5. 環境配慮施工の推進	・大気環境への配慮 ・騒音・振動の防止 ・省資源・省エネルギーの推進	◎ ○ ◎	効果あり 効果あり 効果あり
6. 社会インフラ事業の受注 促進	・行政からの情報を集める ・得意分野を決めPRする	◎ ◎	効果あり 効果あり
7. 海外要員の教育訓練 (対象人員)	・年間教育計画を決める。 ・指導員の教育を行う	◎ ○	効果あり 効果あり

実施状況 ◎ 大変よくできた ○ よくできた △ 少しはできた × 全然できなかった

7-3. 2023年度(次年度)環境経営目標

環境経営目標	基準値	参考値	年度目標		
	2018年度実績	2019年度実績	2023年度	2024年度	2025年度
1-①電力使用量の削減 合計	31,139 kWh	33,549 kWh	32,000 kWh	31,500 kWh	31,000 kWh
1-①電力使用量の削減 本社		18,282 kWh	17,500 kWh	17,250 kWh	17,000 kWh
1-①電力使用量の削減 工場		15,267 kWh	14,500 kWh	14,250 kWh	14,000 kWh
1-②ガソリン使用量の削減	7,122 L	6,746 L	6,800 L	6,700 L	6,600 L
1-③軽油使用量の削減	5,224 L	4,927 L	4,800 L	4,700 L	4,600 L
1. CO2排出量の削減	46,903 kg-CO ₂	44,199 kg-CO ₃	41,536 kg-CO ₂	40,837 kg-CO ₂	41,276 kg-CO ₂
2-1) 一般廃棄物排出量の削減(可燃物)	2,650 kg	2,345 kg	2,300 kg	2,250 kg	2,200 kg
2-2) 産業廃棄物リサイクル率の向上(分別の徹底)	97 %	70.1 %	80 %	80 %	80 %
3) 水使用量の削減	288 m ³	277 m ³	275 m ³	270 m ³	265 m ³
4) 化学物質使用量の適正管理		使用量把握 0.56 kg	使用量把握 -	使用量把握 -	使用量把握 -
5) 環境配慮施工の推進 騒音・振動・大気汚染など出さないように施工する	100%実施	100%実施	100%実施	100%実施	100%実施
6) 社会インフラ事業の受注促進		92 件	実績把握	-	-
7) 海外要員の教育訓練 (対象人員)		6 人	実績把握	-	-

注(1)購入電力のCO2排出係数:0.418kg-CO₂/kWh(2020年東京電力エナジーパートナー)

注(2-2)産業廃棄物はインフラ リニューアル工事での廃棄物であり、リサイクルの管理はできない。

分別でリサイクル率を上げる。

注(4) 化学物質はエポキシ樹脂塗料中のキシレンであり、塗装量が工事によって仕様で決まっているので削減はできない。有機溶剤規則に則て施工する。

注(5) 環境配慮施工の推進は騒音・振動・大気汚染など出さないように施工する。

注(6)(7)実績は2021年度

7-4. 2023年(次年度)度環境経営計画

環境目標 目標値	環境活動計画 施策(取組項目)	責任者	担当者	スケジュール
1. 二酸化炭素排出量の削減				
①電力使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・休憩時の消灯 ・空調の適温化 ・LEDへの切り替え(工場) 	圭介	南	毎日 毎日 随時
②軽油使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・溶接燃料の節約 ・省エネ運転の実行 ・定期的車両整備の実施 	圭介	齊藤	毎日 毎日
③ガソリン使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・溶接燃料の節約 ・省エネ運転の実行 ・定期的車両整備の実施 ・省エネ自動車への切り替え 	圭介	齊藤	毎日 毎日 年1回 検討中
2. 廃棄物排出量の削減及びリサイクルの向上				
①一般廃棄物排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・分別の徹底 ・リサイクルの推進 ・IT化を進め、紙使用量の削減 	圭介	渋谷	毎日 毎日 毎日
②産業廃棄物のリサイクル率の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・業者とリサイクル項目検討 ・分別方法検討 ・分別とリサイクルの試行 	圭介	渋谷	検討中 随時 毎日
3. 水使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・水使用量の節約(ラベル貼り付け) ・水の漏洩点検の実施 ・節水コマの取付 	圭介	渋谷	毎日 年1回 検討中
4. 化学物質使用管理 適正使用	<ul style="list-style-type: none"> ・SDS入手 ・鍵のかかった保管庫に保管 ・使用量の把握 	圭介	南	随時 毎日 随時
5. 環境配慮施工の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・工事前の詳細打ち合わせ ・朝礼での注意喚起 ・低騒音・低振動機械の使用 	圭介	渋谷	毎日 毎日 随時
6) 社会インフラ事業の受注促進	<ul style="list-style-type: none"> ・行政からの情報を集める ・得意分野を決めPRする 	圭介	圭介	随時 随時
7) 海外要員の教育訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・年間教育計画を決める。 ・指導員の教育を行う 	圭介	石川	年1回 毎日

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
適用される主な環境関連法規等は次のとおりである。

適用環境関連法規等	適用される事項(施設、物質、事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(金属クズ、廃プラ、廃油等)
騒音・振動規制法 神奈川県生活環境保全条例	空気圧縮機 設置時届け出 敷地境界線における騒音の規制
安衛法(有機則)	塗料中の有機溶剤
建設リサイクル法	特定建設資材廃棄物を資源化しなければならない

環境関連法規等の遵守状況を確認し評価した結果、環境関連法規等への違反・訴訟はありませんでした。また、関係当局よりの違反等の指摘もありませんでした。

9. 代表者による全体評価と見直し・指示

2023年9月22日実施

全体評価	各項目の年間目標が概ね達成されており、ほぼ達成することができました。引き続き、事務所内の掲示をはじめ、エコキャップ回収活動、近隣地域の清掃など地域貢献活動も行っている。8月には横浜型地域貢献企業も更新できたので、今後も全社員一丸となり継続していきたいと思います。
個別評価	売上、ガソリン使用量、産業廃棄物の排出量が達成できなかった。工事で移動するために車は必要だが、極力最小限になるよう心がけ、廃棄物も分別できるものはしっかりと分別しリサイクルして来たいと思います。
指示	環境方針 変更なし 環境目標 変更なし 環境計画 変更なし 実施体制 変更なし 前回変更したことを引き続き今期も継続していく。